

平成 30 年 1 月 19 日

新潟県立看護大学のメールサーバーへの不正アクセスと
迷惑メールの送信について（最終報）

1 月 15 日に本学教職員のユーザー名とパスワードが第三者に不正に利用され、本学メールサーバーから多数の迷惑メールが送信されていたことが判明しました。

調査の結果、迷惑メールの発信のほか、当該教職員の受信メール 6 件、送信メール 2 件に不正アクセスの痕跡があり、このうち、送信メール 1 件に 1 人の方の氏名、住所、電話番号の個人情報が含まれていることが判明しました。

個人情報が漏洩した可能性のあるご本人様には、深くお詫びするとともに、皆様にご迷惑、ご心配をおかけすることになりましたことを改めてお詫び申し上げます。

今後、同じような事案が発生しないようセキュリティ対策の強化に努めてまいります。

1 調査の概要

(1) 不正にアクセスされた期間

平成 29 年 12 月 18 日（月）～平成 30 年 1 月 14 日（日）

(2) 迷惑メールの送信件数、内容

件数：375, 531 件

内容：資金提供を呼びかけるもの

(3) 迷惑メールの送信先

海外などに送信された模様。当該教職員の受信トレイ、送信済みトレイに格納されていたメールアドレスは含まれておらず、不正に利用された痕跡はありません。

これまでのところ、送信先から本学に問い合わせ等はきておりません。

(4) 個人情報が漏洩した可能性がある方への対応

本日、当該教職員が謝罪をいたしました。

あわせて、本学からお詫びの文書を発出いたします。

(5) 原因

当該教職員のユーザー名とパスワードが流出したため。流出した原因は不明。

2 対応

- (1) ファイヤーウォールで不正アクセスした IP アドレスをブロック。その後の不審なアクセスはありません。
- (2) 当該教職員のパスワードを変更。あわせて、使用しているパソコンの初期化を実行。
- (3) 全教職員にパスワード等の管理の徹底を注意喚起。
- (4) ネットワークの監視を強化。

問い合わせ先

公立大学法人 新潟県立看護大学

事務局次長 森橋 真一

電話 025 (526) 2811